

テーマ	リーダーシップを発揮する
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・協力、相談しながら行動する ・自分たちでルールを考える ・困っている人に気付く



	当初の予想	現 状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・20分間は集中し、保育教諭の話が聞ける子が多い。 ・自分のしたいことを、気の合う仲間2～3人と楽しむ。 ・自分の思いや考えを言葉にすることが苦手な子が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30分は集中し、保育教諭の話が聞けるようになってきた。話の内容を理解し、分からないことがあると聞くことができる子が増えている。 ・5～6人で集まり、自分たちで遊びのルールを決めて楽しんでいる。 ・みんなの前で自分の考えや感想を発表することができる子が増えている。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢グループ活動をする時には、中心となって話し合いや活動を進める。 ・当番活動（お迎え、配膳当番等）をする。 ・自分たちで遊びや活動内容を考えてようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ担当の保育教諭に代わって、話し合いの進行をしている。 ・お当番の準備、配膳、片付けまで、保育教諭が必要最小限の配慮をする。自分達だけで行うことができるようになってきた。 ・時計を見て、どの活動を何時まで行うか、話し合っていて決めている。 ・ひらがなや数字を読んだり、書いたりすることに興味を持ち、積極的に取り組んでいる子が多い。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・集団としての関わりを大切にすること。 ・子どもたちを見守り、信じ待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでやる為にはどうするか。」を考えることができるようになった。 ・困ったことがあった時には、解決に向けてみんなと話し合いをするようになってきた。



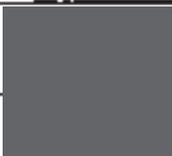
自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことを見つけて積極的に取り組むようになってきたが、苦手なこと、自信がないことには一歩引いている子が多い。できたことを褒め、自信が持てるようになっていく。 ・相手のことを認め、仲間としてつながれるようになってきた。保育目標の「自分を信じることができる子」「自分を好きになれる子」に近づいてきたことを感じている。
------	---	--

- 評価基準
- A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	<p>これからの子ども達の成長をいかにサポートしてあげようかと、園長先生に相談中です。卒園までの成長の支えとしてあげよう。</p>
------------	---	---

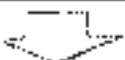
施設関係者評価委員氏名



テーマ	自分の楽しさを発表しよう！
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことを伝える ・自分の中で感じた楽しさを伝える ・仲間と共感する



	当初の予想	現 状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・虫探しやゴっこ遊び等、興味を持った遊びを個々に見つけて遊ぶ。 ・異年齢の二人組で話す、聞く時間を話し合いの中心に3分程度を目安にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢関係なく他の子の遊びに興味を持つようになった。自分が楽しんでいることを他の子に伝えたり、仲間に入れてもらったりと子どもたち同士で遊びを共有し、一緒に何かをするという時間が増えてきている。 ・それぞれに自分のしたいことが確立し、意見のぶつかり合いが出てきた。子どもたち同士での折り合いの付け方の練習中。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な素材を使い、作りたいものを作る。 ・知りたいことを聞く、調べる ・子どもたちの見たいこと、やりたいことがある場所に行く。 ・楽しかったことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた材料や廃材を使って制作をする（太鼓、車、恐竜等） ・知りたいことがあると、保育教諭に聞いたり、本や図鑑を見たり、iPadで画像や動画を検索して調べている。わからない文字があると、年上の子に聞いている ・朝の話し合いや夕方の振り返りの時間を使って、自分の楽しかったことを他の子に伝えている
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒にチャレンジする ・子どもたちの楽しさに共感したり、伝えきれない気持ちを代弁する 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で年下の2歳児や年少児もやってみたいことややりたいことを自分の言葉で伝えることができるようになってきた ・他の子の遊びを見て楽しいと思ったことを一緒に楽しむようになった。



自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で見つけた「楽しい」をグループ内では伝えることができているが、発表できる場がグループ内だけになってしまっている ・子どもたちが自分たちが伝えたいと思えるような活動ができるように一緒に考え、発表の場を生んでいく。また、チューター会議や林の時間を使い、他のグループ担当と活動の内容を共有していく
------	---	---

評価基準
 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	<p>やはりこの場を楽しく表現する場とする事は大切。仲間と協働・協働して楽しく発表の場をより支援してあげたい</p>
------------	---	--

施設関係者評価委員氏名



テーマ	「好き」を通して世界にひろげよう！
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「好き」を表現することを楽しむ ・「好き」をむつみの外に伝える



	当初の予想	現 状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶこと、衣装を着てダンスをやることか好きな子が多い ・「こうしたい」「やってみよう」等、考えていることや自分の気持ちを伝えられるようになってきている ・まわりの子に興味や親しみをもって、関わるようになってきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験したこと、体験したことを遊びに取り入れている(例えば、「昨日お祭りでもさこい見たよ」という会話から、ゾーラン頂のダンスに発展したり等。) ・まわりのイメージを共有したり、なりきってやりとりをしながらお祭りごっこを楽しんでいる。(組合でチョコバナナ屋さんやかき氷屋さんなど、実際に自分たちが行って買ったことがあるものを作っている)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな曲でダンスをしたり、衣装を来て好きな役になりきって踊る ・お絵描きを楽しむ ・ブロック、レゴブロック等を使って、自由に制作する ・公園や園周辺の探検をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい曲に挑戦し、自分達で制作したダンスを楽しんでいる。(ゾーラン頂、明日はきょうといふ日になる) ・目的に志した材料や廃材や色んな材料を使って組合やお金、お財布作りの制作をしている。 ・他のグループを招いてお祭りごっこを開いている。または聞く計画を立てている。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの「好き」に興味や関心をもてるような声かけをする ・ひとりひとりの「好き」をみんなで大切にできるような関わりを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたい遊びを保育教諭含め、みんなで活動していったことで、ひとりひとりの「好き」をみんなで大切にできるようになった。



自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの「好き」をみんなで楽しんだり他のグループには伝えたり一緒に活動することができたが、むつみの外には「好き」を伝えられることができていない。今後の見通しとして2月に発表会があるので保護者の方だけでなく、地域の方にも来ていただけるよう呼び込みやお掛けをする方法を考える。
------	---	--

- 評価基準
- A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	<p>「好き」を最初の上手・・・」とこのお祭り 如個性を伸ばす。でもグループお祭り 好きが楽しめるといいですね。</p>
------------	---	--

施設関係者評価委員氏名



テーマ	自分の『楽しい』をみんなに伝える。
ねらい	・自分の好きなことをとことん楽しむ。 ・みんなの『楽しい』を理解し合えるようになる



	当初の予想	現状
子ども達の様子	・「みんなで遊びたい」という思いが、個々の遊びたいものを意見して遊ぶ。 ・「大組」「大組でできる遊び」を保育教諭の誘いからで行う	・年齢を越えて、自分が楽しいと思う遊びを他の子にも共有して取り組もうとしている。 ・異年齢で活動することに慣れ、みんなで活動を楽しむための方法を年長児が中心になり考えたり、話し合いを進めたりしている。 ・体を動かす楽しさを知り、様々な運動遊びに意欲的になっている。
活動内容	・遊んだ内容を思い出しながら、ひとりひとりで絵描きをする ・ブロックや積み木、カヌー等好きなものを作る ・劇団、戸外での活動 ・「あぶくたった」、「なべなべそこぬけ」等の簡単なルールのある遊びをする。	・お絵描きをしながら、イメージしていることを他の子に伝えたり、大きな紙に一緒に絵を描いたりしている。 ・目的に応じた廃材を使って製作をしている（湯泉作り、小人の町など） ・運動遊びをしている。（鉄棒、平均台、マット、縄跳び、跳び箱など）
関わり	・子どもたちが意見を出し合える場を作る。 ・子どもの興味関心を察知して活動に展開していく。	・「歳児～年長児まで自分の意見を話し合える場」が出来るようになってきた。 ・他児が楽しんでいることにも興味を持ち、一緒にやってみようとしている。



自己評価	B	・グループ内では「楽しい」の共有ができてきたが、他のグループへの共有ができていない。グループリーダー職員同士で、共有できたあと、子どもたちにも他のグループがどんなことをしているのかを知らせる場を計画していく必要がある
------	---	--

- 評価基準
- A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	楽しんでる子ども達にとって大切な 感覚が大切だと感じ
------------	---	-------------------------------

施設関係者評価委員氏名



テーマ	有名人への道を進もう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが園外へ散歩に行く 子どもたちが地域の人とたくさんだり合いになる



	当初の予想	現 状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことや物に興味を持っている リズム体操をしたり、散歩に行ったりして身体を動かしている チェーン落とし、ブロック、おままごとなど一人遊びを楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊びや気になる遊びを見つけると自分でやったり、見に行ったりしている リズム体操をしたり、有坂公園へ散歩に出掛けたりしている。 自分で遊びたい物を選んで一人遊びを楽しんだり、保育士と一緒に簡単なごっこ遊びをしながらしている。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で興味のあることを見つける 園庭でたくさん身体を動かす（這い這い、歩く、走る） 散歩に行き、地域の方とたくさん話しかけたり、手を振ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 有坂公園や赤坂の町、園庭などに出歩いて身体を動かしている。 指先遊び（箸遊び、お絵描き、シール等）運動遊び（鉄棒の山を上る、平均台を歩く等）など自分で選んで遊んでいる。 絵本やダンスなど見たり踊ったりしている
関わり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの言葉で伝えきれない気持ちを保育士が代弁する 子どもたちと一緒に意見を話し合い、遊びを全力で楽しむ 子どもたちが興味を持った瞬間を見逃さず、つぶやきをすべて聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士や他の子と会話をしながら、一緒に楽しんでいる。 保育士と一緒に初めての遊びや、好きな遊びを楽しもうとすることが増えた。



自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 初めての場所や人に興味を持ち関わろうとする姿がある。また、言葉も増えてきたため他児と言葉のやり取りをすることも増えてきた。まだうまく伝えられない際は、保育士が間に入り代弁したことでその中でも少しづつ言葉を覚えやり取りをするようになった。子どもたちが身の回りでできることや興味があることを職員間で共有することで、どの職員が対応しても同じ動きができるようにしていく。
------	---	---

評価基準
 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	テーマが伸びるし、成長が楽しみです
------------	---	-------------------

施設関係者評価委員氏名



テーマ	人と触れ合おう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と一緒に初めての遊びをする ・身近な人と過ごす喜びを感じる ・身の回りのものに関心を持つ ・のびのびと気持ちよく身体を動かしたりスキンシップをとったりする



	当初の予想	現状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生活リズムで過ごしている。 ・自分よりも大きい子たちの遊びの様子に興味を持っている。 ・ぞり這いや這い這いで室内や湖庭を散策している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの授乳時間や離乳食の時間、睡眠時間を確保して個別に対応している。 ・他の子の遊びに興味を持つようになり、自分から向かって行くことが増えてきている。 ・這い這いや歩行で移動し、室内や湖庭で散策を楽しんでいる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・握り玩具や吊り玩具などで遊ぶ。 ・他の子と一緒に遊んだり、地域の方に挨拶をしたりする。 ・湖庭や湖周辺の散歩に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・握り玩具や吊り玩具を見たり、触れたりしながら遊んでいる。 ・保育士が出先で会った方々に挨拶をし、それを見たり、聞いたり、傾いたりしている。 ・他の子や職員と一緒に湖庭や湖周辺(表公園)へ散歩に出掛けている。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの気持ちを代弁し受け止めて関わる。 ・一人ひとりの生活リズムで過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泣いたり、怒ったり、笑ったりなど自分の気持ちを表現するようになった。 ・離乳食の種類が増えたり、心地良く寝たりと、一人ひとりの生活リズムで過ごすようになった。



自己評価	B	他の子の遊びに興味を持って行くことが増えてきたが、行った先で月齢に合った玩具が準備できていない時がある。そのため職員間で環境構成(テーブルや棚の配置、玩具の見直し、物の種類等)を話している
------	---	--

評価基準
 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	説明をきいて納得し共有。こねろも1人1人に寄り添ってやっていく
------------	---	---------------------------------

施設関係者評価委員氏名

